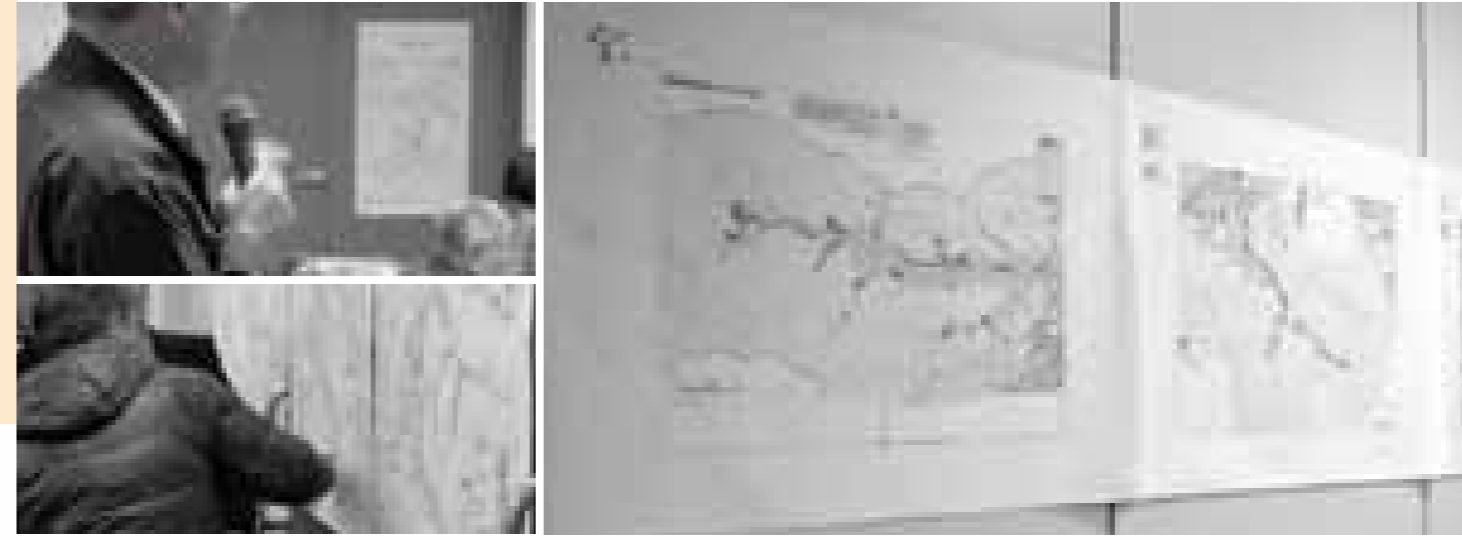


防災ハザードマップで、安全・安心なまちづくり

本市は、急斜面で険しい山や沢が多く、土砂災害の危険性が高い地域です。
 ー昨年9月の台風12号・15号の上陸による、身近な河川の氾らんや住宅地付近での土砂災害の発生は、改めて自然災害の猛威を知らされ、同時に日頃からの防災に対する心構えと準備の重要性を再認識させられることとなりました。
 また、東日本大震災では、マグニチュード9という巨大地震によってさまざまな災害が引き起こされるなど、それまでの防災対策の想定をはるかに超えた大規模広域複合災害となりました。
 さらに、近年中に発生確率88%とされる東海地震や、南海トラフ巨大地震につながるとの予測が示されるなど、識者によるさまざまな見解が示される中、本市においても災害対策の強化は急務となっています。



ハザードマップ Q&A

○「土砂災害はどのような場合起きるのですか。」

土砂災害の多くは、何日か続く長雨や急な強い雨の時に発生しますが、現地の地形や地質・植生など、様々な要因によって左右されるため、発生箇所や時期を予測することは困難です。長雨や大雨の時に土砂災害のおそれがあると感じたときは、谷やがけの様子に注意しながら早めの避難をお願いします。

○「土砂災害警戒区域」と「土砂災害特別警戒区域」との違いは。

『土砂災害警戒区域（イエローゾーン）』は、土砂災害が発生した場合、住民の生命・身体に危害が生ずるおそれがあると認められる土地の区域です。『土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）』は『土砂災害警戒区域（イエローゾーン）』のうち、建築物に損壊が生じ、住民の生命または身体に著しい危害が生ずるおそれがあると認められる土地の区域であり、一定の開発行為の制限や居室を有する建築物の構造が規制されます。

○「土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）」に居住している場合は、どうすればよいのですか。」

土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）に居住されている場合は、そのまま居住することが可能です。しかし、土砂災害特別警戒区域に指定された後、建替や増築などを行う場合は、建築物の構造規制に基づく建築確認を受ける必要があります。

○「土砂災害警戒区域などの範囲は変更されるのですか。」

土砂災害警戒区域などは、地形地物の状況によっては区域変更や解除の可能性があります。土砂災害警戒区域は、地形要因に基づき区域指定が行われるため、地形に変化がない限り区域の変更・解除は行われません。一方、土砂災害特別警戒区域は、流出する土砂の移動や積もった力からその範囲が決定されるため、特定開発行為に関する対策工事などが施工され、土砂の移動や積もった力が少なくなった場合や無くなった場合には、区域の縮小や解除が行われます。

市では、様々な災害にかかる計画などを点検し、「公共施設の耐震化推進」「災害対策本部・避難所等の資機材の拡充」、「非常時における給水等ライフラインに係わる資機材の拡充」など、9項目を中心とした「都留市震災対策強化推進計画」を平成23年に策定し、震災対策を基本とした安全・安心なまちづくりのスピード化を図るべく、推進しています。
 今回、その推進項目の1つである「市民への震災対策の啓発」として、土砂災害の危険区域などを基本とした「都留市防災ハザードマップ」を作成することとし、作成に当たっては、2月6日から15日まで、市内全地区を対象とした「未来を拓く都留まちづくり会議」を開催し、多くの意見を参考に修正を加え、市民の皆さんが災害を身近に意識することができるようにしました。
 市では、都留市震災対策強化推進計画に基づきこのような取り組みのほか、避難所などの見直し、災害時要援護者台帳の作成、災害時要援護者関連施設との施設カルテ作成による連絡体制の確立、地域防災計画の大幅な見直し、防災にかかる講習会の開催のほか、大規模災害時における本市の事業継続計画（BCP）をこの3月に策定するなど、安全・安心なまちづくりに向け、スピード感を持って取り組んでいます。
 今回配布しました防災ハザードマップを、地域、職場、家庭においてぜひご確認いただき、また、すでに地域で作成済の防災マップなどと合わせて、さらに



◆災害時要援護者関連施設カルテ作成説明会
 1月31日、いきいきプラザ都留の会議室において、介護事業所、保育施設、医療機関などの市内の施設を対象とし、土砂災害警戒区域に関する説明と、全施設が統一の様式を使用した「施設避難カルテ」の作成についての説明会を開催しました。ほとんどの施設からカルテ作成のご協力をいただき、消防、警察、福祉課などの関係機関との情報共有を行う中で、大規模な災害発生時にも、施設利用者を少しでも早く、安全に避難できるよう取り組みを推進することとしました。

必要な情報を書き足していただくなど、より効果的な防災ハザードマップとして活用していただけるようお願いいたします。
 なお、市内の事業所などの皆さんには、市行政管理課法制・安全室までお越しいただければ、該当地区のマップをお渡しします。（数には限りがございますので、ご了承ください。）

●避難所・避難場所の見直し及び一時変更について

広報3月号でもお知らせしましたが、市では、県による土砂災害警戒区域及び特別警戒区域の指定が、昨年度に市内全域で終了したことに伴い、また地域防災計画の見直しに合わせて、避難所（建物）・避難場所（広い土地）の全体的

な見直しを図ることとしました。避難所・避難場所は、原則として同じ施設（主に学校施設）を指定していますが、土砂災害の際に影響があると思われる施設については、「土砂災害」にかかる災害時には、近隣の他施設に変更するなどとしています。避難所・避難場所は次のとおりです。

地域	地区	災害時避難所・避難場所	
		地震などの災害時	土砂災害時
谷村	楽山	避難所：市民体育館 避難場所：都留文科大グラウンド	※谷村工業高校は工事中のため、平成29年度末頃まで「谷一小」
	田原・田原団地・上町・上天神町	谷村工業高校 ※	
	川棚・旭ヶ丘	川棚宮農指導センター	
	仲町・下町・高尾町・横町・栄町・城北町・田町・幸町・新町・下天神町・早馬町・寿町・弁天町・長者町・深田・新明町・新井・姥沢・鷹ノ巣・羽根子	谷一小 下谷体育館	
三吉地	上小野・大津・下細野・上細野・菅野	附属小	
	法能・住吉町・日の出町・熊井戸・緑町・下小野・中小野・権現原・西海戸・熊井戸団地	避難所：都一中 避難場所：住吉球場	
東桂	玉川・宮原・引の田・上戸沢・下戸沢 サンタウン玉川・中野団地		谷二小
	十日市場・蒼竜峡団地・桂町・下夏狩・上夏狩		東小
宝	鹿留古渡・鹿留宮下・鹿留沖・境		東中
	金井・中津森・上大幡・下大幡・高畑・サンタウン宝・サンタウン平栗・厚原・平栗・加畑		宝小
禾生盛里	与縄日影・与縄日向・与縄上手	与縄宮農指導センター	
	古川渡・川茂・井倉・九鬼団地・井倉団地・サンタウン井倉		禾一小
	田野倉・田野倉団地・小形山		禾二小
	月見ヶ丘・四日市場・富士見台		都二中
	馬場第一・馬場第二・神門・久保・曾雌第一・曾雌第二・大平・朝日団地		旭小
市内全域		まちづくり交流センター（旧：文化会館） ※市内全域及び「福祉避難所」のバックアップとして、避難所のみで使用	

平成25年度の主な事業

今年度、新規・拡充する事業などを紹介します。

安全・安心



消防指令センター整備・ 消防無線デジタル化事業

本市・大月市・上野原市が共同で指令事務を統一し、大規模災害などへの迅速な対応、また、施設整備費の削減などを図ります。また、国の周波数再編に伴い現行の消防救急無線のデジタル化事業を実施します。今年度は設計業務を行います(大月・上野原からの負担金あり)。

予算額 48,825千円

佐伯橋補強耐震事業

年度計画に基づき、老朽化した橋梁の長寿命化を図ります。本年度は佐伯橋(田原地内)の耐震補強工事を行います。

予算額 124,600千円



その他の事業

防災倉庫整備事業	11,561千円
高齢者運転免許証自主返納支援事業	500千円

環境



電気自動車啓発事業

小水力市民発電所「元気くん1号」の隣接地に電気自動車用急速充電器を設置し、併せて電気自動車を購入し、市民及び事業者に対してクリーン自然エネルギーを啓発します。

予算額 6,100千円

その他の事業

公共施設照明LED化事業	4,533千円
超小型水力発電機設置事業	315千円

教育・文化



市費負担教員配置事業

学力の定着及び向上を目的として、少人数学習指導を実践のため、小中学校に市担教員を配置します。

予算額 14,754千円

小・中学校施設改修事業

旭小学校及び東桂中学校屋根外壁改修工事、谷村第二小学校プール改修工事などを行います。

予算額 247,202千円

その他の事業

国民文化祭開催事業	12,147千円
-----------	----------

協働



ふるさと普請事業

うぐいすホールの野外ステージについて、市内の青年や学生、事業者で構成する市活性化コンソーシアムRe:Tsuruにより整備していただくため、その原材料費を支給します。

予算額 4,053千円

子育て



小児インフルエンザワクチン 予防接種助成事業

0歳から中学校3年生までを対象としたインフルエンザ予防接種費用(1回目自己負担額のうち1,500円)の助成を実施します。

予算額 3,144千円

その他の事業

子ども読書支援事業	226千円
のびのび教室開催事業	210千円
いきいきプラザ都留授乳室設置事業	1,239千円

まちづくり



多目的ステージ建築事業

戸沢の森和みの里ゆうゆう広場内に、「第28回国民文化祭・やまなし2013」などで利用する多目的ステージを建築します。通常は東屋として公園利用者の休息の場として使用します。

予算額 20,000千円

その他の事業

井倉土地区画整備事業	200,262千円
玉川公園改修事業	21,600千円

行政運営



土地開発公社経営健全化事業

市が依頼し、土地開発公社が先行取得した土地を6カ年計画で買い戻し、土地開発公社の健全化に取り組みます。

予算額 95,020千円

その他の事業

債権回収特別対策事業	3,615千円
口座振替推進事業	819千円



■谷村町駅にて、小林市長と主演の堀北真希さん

女優の堀北真希さんが主演し、今年の秋に公開予定の映画、「麦子さんと」(吉田恵輔監督)の撮影が市内各所にて行われました。
この撮影は、富士の国やまなしフィルム・コミッションを通じて市に話があったもので、1月23日から2月16日にかけて、市内を中心に様々なシーンの撮影が行われました。都留市においては、いままですドラマの撮影などは何度か行われましたが、映画撮影はこれが初めてのこととなります。

堀北真希さん主演作品「麦子さんと」 市内各所でロケ実施！



■市内飲食店にて

この映画は、全体の約70パーセントを都留市内でロケしました。
映画の撮影にあたっては、多くの市内の会社やお店、そして市民の皆さんに協力していただきました。
劇用品として、工用具や車、店舗などを貸していただいたり、寒い中、撮影にエキストラで協力してくださった皆さん、大変お疲れさまでした。
吉田監督をはじめ、スタッフの方々は、「都留市の方々は皆さん非常に協力的で、スムーズに撮影が進みました。大変感謝しています。」とおっしゃっていました。
ぜひ、皆さんも、スクリーンに写し出される都留のまちを映画館でご覧ください。

「麦子さんと」あらすじ

ニット帽を被り、田舎の小さな駅に降り立った麦子。麦子は、亡くなった母(彩子)が青春時代を過ごした田舎に納骨のために来たのだったが、かつての母は、なんと町のアイドルだった!?

彩子にそっくりな麦子の登場に、色めき立つ町の人々。母の親友、母の熱烈なファン…。青春時代の続きと言わんばかりに、いい大人たちが麦子の廻りで騒動を巻き起こす。麦子にとっての母は、自分と兄を置いて家を出ていった最低の母親。だが、町の人を通して、母親に触れることで、今までとは違う母に対しての気持ちが生まれていく麦子。母が青春時代を過ごした田舎で、母の青春の続きに付き合わされる不思議な数日間。麦子の心に、優しい気持ちが広がる。

共演者

松田龍平さん・温水洋一さん・余貴美子さん・麻生祐未さん

2013年、秋全国ロードショー

(c)2013「麦子さんと」製作委員会

「麦子さんと」公式ホームページ <http://www.mugiko.jp/>



■(上) 市内の寺において撮影された、夜まつりのシーンです。非常に寒い夜でしたが、堀北さんを始め、キャストの方々の演技は「さすが!」でした。エキストラの皆さんも、寒い中お疲れさまでした!



■(下) ボウリング場での一コマ。打合せを行う堀北さんと温水さん。とても真剣です。